

# 県も福祉灯油実施を決める

15日、県は、生活困窮者に対して福祉灯油を実施する市町村に、一定の財政支援を行うことを明らかにしました。

市町村が支援する住民税非課税世帯、高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯、生活保護受給世帯等を対象者としています。補助率1/2で、一市町村あたり補助限度額100万円、概算で3000万円を見込み、2月補正予算に計上する方向です。

県内では、日本共産党地方議員の活動もあり、全市町村が福祉灯油を実施します。また、東北各県も実施する方向です。昨年、日本共産党県委員会と県議団は、県に対して原油高騰の緊急対策を申し入れていましたが、少額ながら支援の姿勢を示したことは評価できます。

今後、県内の地方議員とも連携して対策強化に取り組んでいきます。



こんにちは

## 渡辺ゆり子

2008年1月27日  
第21号  
発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺ゆり子  
<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

## 中国「残留」日本人孤児を励ます会に出席 —新支援制度設立祝賀—

20日、中国「残留」日本人孤児を励ます会（加藤実行委員長）が開かれました。政府の責任を明らかにするために裁判に訴えてきた原告団の粘り強い運動と支援の広がり、政治が動き福田総理が国の責任を認め、議員立法で新支援法ができました。山形県原告団は提訴を取り下げましたが、今後は中国残留帰国者の会として活動をしていくこととしています。当日は原告、関係者、弁護士、支援者など約200名近い参加者がつどい、日本共産党県議団も参加しました。

た。

この間、日本共産党の県内地方議員も裁判傍聴や支援、相談活動などで関わってきました。

県議会でも笹山県議団長が取り上げ、交流事業が実施されています。

「やっと日本人になれた」と語る中国残留帰国者の方々が、人間らしい暮らしを送れるよう今後力を尽くしていきたいと思えます。



議会の日程

《予算内示》  
2月15日(金)  
《2月県議会》  
2月22日(金)開会予定

### ゆり子の視点

〜一月に思いつく  
団体の新春のつどいや旗びらき、新年会などが続く月です。あいさつの機会がある時は、「初心を忘れず、今年も身近な暮らしの声をしっかりと県政に届けていきたい」と述べています。他の方々のあいさつで多「やった」と言うものですが、

食品偽装や耐震偽装が問題になりましたが、背景にあるのは、利益優先でもうかれば何をやっていいという考え方です。弱肉強食を奨励する構造改革路線を進めてきた政治の責任は重大です。

昨年の参院選に続いて総選挙が行われる可能性が大きいと言われている今年、地方政治の場からも、民意とかけ離れた国政の矛盾を浮きぼりにする活動を大いに展開したいと思えます。

